

堀内明 ほりうち ドイツ文學―語學者。明治四十一年十一月十四日徳島縣生れ（一九〇九）。昭和七年東京帝國大學文學部獨逸科卒。成城高等學校、明治大學、横濱市立大學各教授歴任。

著譯書『ゲーテへの道』（合著・柏良守峯編、昭和二十四年十月二十日櫻井書店）、ケラー作『ロセツの傳説他一篇』（譯、昭和二十五年五月五日岩波書店『岩波文庫』）、チャイコフスキイ著『音楽家の想ひ出』（譯、昭和二十五年八月十五日角川書店『角川文庫』）、『ロッドイツ小説選』（共譯・手塚富雄編、昭和二十五年九月五日筑摩書房『中學生全集』）、ケラー作『グライネン湖の代官』（譯、昭和二十七年十月五日岩波書店『岩波文庫』）等。

